

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓―河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 58 新・危機管理のノウハウ
- 59 交差点―読者の声・編集者の声

- 80 金融の世紀―黒木亮
- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 をんな千一夜―石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

社会・文化



“大逆転”の裏では、甘利一派の政治介入を排除したい文科省が暗躍。そこへ新たな「架空請求」疑惑が発覚し、工学系の「伏魔殿」にも火の手があがる。終わりのなき醜聞で卓越大学は遙か遠のく。関係者必読。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 医薬品販売「規制墨守」という宿痼―世界が笑う不便な「時代遅れ国家」
- 102 NHK「靖国番組」が隠した史実
- 104 東欧医学部留学が「暴利」の温床に
- 106 日中混合「弦楽四重奏団」が示す未来―「傍流」から生まれた新星の躍進
- 108 「個人情報漏洩」メディアの空騒ぎ―対策の「不備・怠慢」を改める好機
- 110 東京大学「総長選考」―底なしの「金権腐敗」全内幕

経済

- 60 金利上昇「AI相場」はどう変わる―米中間選挙が大きな「分岐点」に
- 62 苦境の信金業界で醜い「仲間割れ」―信金中金「業界追放」妄言の波紋
- 64 PWCは「ニデック」を見殺しのか
- 67 監査法人の保身と無責任の悪例
- 68 企業買収「ウルフバック」の非道続発―経済安保で防止策強化が不可欠
- 70 東京電力「実質破綻」の尻拭い
- 72 外資生保の「隠蔽悪行」はまだまだ
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」十六フィナンシャルグループ―「りそな」などの提携深化は妙手か
- 82 日中共同「軽EV発売」の前途多難―中身は奇瑞「EMT」に漂う敗色
- 84 連載「企業研究」ソニーグループ

世界が認めた日本ブランドを、こんな企業に誰がした。30年以上もヒット商品が生まれず、今やしがない投資会社だ。主柱のエンタメも米国の「独立王国」で制御不能。堕ちた名門はあてども無く漂流を続ける。(84頁)



政治



世界の中心で咲き誇るどころか、ただ官邸に引きこもる宰相。北方領土を蹂躪され、記者を拉致されても他人事。トランプ一辺倒の姿勢が、中露から舐められる事態を招く。働かぬ総理に資質を問う声が高まる。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 「軍事で食える国」高市：小泉の鼻息―政官民の新「巨大利権」争奪戦
- 48 米中露に「無力」の高市外交
- 52 連載「政界スキヤン」高市人気を支える人々の思考法
- 54 高市「農林族叩き」が大失敗に
- 56 いまや政界「迷惑組織」の公明党

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」齋藤純一―高市政権で「強い国」にはならない
- 6 「選挙敗北」トランプの狂乱
- 12 中南米を蝕むトランプ帝国主義―「ペネトラ型搾取」の次の標的
- 14 ICC擁護で欧州諸国の「二枚舌」
- 16 フランスで消えゆく「平等と寛容」―極端な政治と長い停滞の時代に
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 ボスニアを「喰い物」にする米国―ロシアと結託「資源利権」を収奪
- 24 ロシアが傾注する「日韓工作」
- 28 盟主「凋落」サウジアラビアの孤立―イエメンで迫られる「屈辱的譲歩」
- 30 イスラエルの急速な「日本接近」
- 32 ミャンマー「稀少鉱物」中国の爆食―大国のエゴで荒れる山河と資源
- 34 北朝鮮「ドローン」がソウルを襲う日―迫る脅威に韓国の鈍い対応
- 36 中国「米朝対話」後押し「の計略」
- 38 連載「現代史の言霊」11月の預言―アフガニスタン首都攻防2001年

あの男が急進左派に負けたと認めるはずがない。再び内戦を危惧する声も。議会無視が常態化し、同盟国もお構いなしで異常な対外政策を乱発。残り任期で秩序を破壊し尽くす。暴君の感情が支配する世界だ。(6頁)

